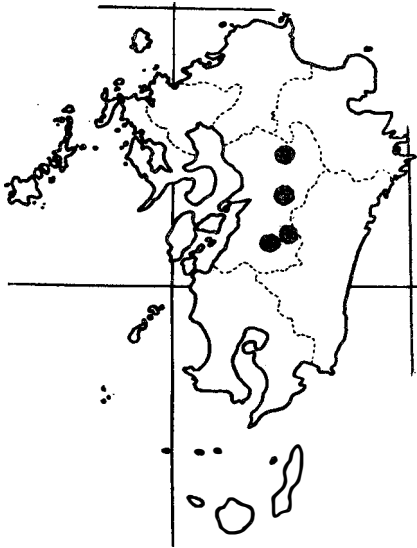


## 乙益正隆 九州に於けるアカメイノデの分布

M. OTOMASU : Distribution of *Polystichum Kurokawae* TAGAWA in Kyūshū.

大井次三郎氏の日本植物誌シダ編並に田川基二氏の原色日本羊歯植物図鑑によればアカメイノデの分布については、関東・中部地方南部、近畿、中国、四国を掲げ九州はその中



に入っていない。そこでアカメイノデはカタイノデとツヤナシノデの中間型であるという事から両者の混生地を探した結果、次の場所に分布する事が判明した。熊本県菊池郡深葉国有林18林班（海拔 650 m, 1 株, 1961年）；熊本県<sup>1</sup>五家荘椎原（海拔 600 m, 3 株 1961年）；熊本県球磨郡水上村柳平本谷（海拔 630 m, 3 株, 1960年）；水上村岩河内谷日当（海拔 580 m, 2 株, 1960年）。以上は九州に於けるアカメイノデの分布場所であるが、カタイノデは海拔 400 m 以下の溪谷に多く生育し、ツヤナシノデは海拔 600 m 附近から上の山地に多い為、両者の混生する場所は極めて少なく、従つてアカメイノデの個体数も少ない。なお岩河内谷日

当はアカメイノデの南限地になる事を記録したい。最後にこの資料を作るにあたり、御世話戴いた京都大学田川基二博士、標本の検討と御指導を戴いた東京大学倉田悟氏に深くお礼を申し上げます。（熊本県人吉市城本町第二中学校）